

# 『まちづくり計画書』



伝統ある文化と自然環境に恵まれた特色を生かした住みよいまちづくりを目指す

いざわ  
**射和地区まちづくり協議会**

2020年 4月 改訂

## < 目 次 >

第1章	はじめに	1
	1.1 射和地区の沿革	1
	1.2 協議会設立及び計画書策定の趣旨	1
第2章	射和地区の概要	2
	2.1 松阪市における射和地区の現況	2
	2.2 アンケート結果による射和地区住民の意識	2
第3章	射和地区を取り巻く現状と課題	3
	3.1 自然	3
	3.2 歴史・文化	3
	3.3 産業	3
	3.4 交通	3
	3.5 子育て・教育	3
	3.6 福祉	3
	3.7 安心安全	3
第4章	まちづくりのあり方	4
	4.1 まちづくりの目標	4
	4.2 まちづくりを支える5本の柱	4
	4.3 射和地区まちづくりの将来像（こんなまちになったらいい!!）	5
第5章	施策実施の具体的計画案	6
	5.1 自然	6
	5.2 歴史・文化	6
	5.3 産業	6
	5.4 交通	6
	5.5 子育て・教育	7
	5.6 福祉	7
	5.7 安心安全	7
	おわりにあたり	8
	(補足資料)	8~9

### 【資料編】

- ・ 射和地区地域づくりアンケート
- ・ アンケート結果（アンケート結果からみる射和地区の現状と人口推移）

## 第1章 はじめに

### 1.1 射和地区の沿革

松阪市射和地区は、橿田川の下流左岸に位置し、伊勢自動車道とJR紀勢本線との間の区域にあります。

その射和地区に近い多気郡多気町丹生は古代から日本最大の水銀産地として栄えていました。

中世に入り丹生産の丹砂(水銀鉱石)を加工して造る軽粉製造業がこの地区で盛んとなり、それらを全国に広め伊勢白粉として重用されました。

名産の軽粉や木綿を扱う射和商人は、江戸時代初期から江戸や京都・大坂に店を出し成功をおさめました。それが松阪商人の先駆けです。

今、豪商の邸宅の大部分は時代の流れと共に姿を消していきましたが、町並みを歩くと往時の繁栄を偲ぶ建物などが今なお残っています。

明治22年町村制の施行により、飯野郡射和村、御麻生菌村、庄村、阿波曾村の区域をもって発足。その後、飯南郡に変更されました。

明治41年神山村の一部である中万、上蛸路、下蛸路、八太を編入、昭和30年の市制施行に伴い松阪市に編入し現在に至っています。

### 1.2 協議会設立及び計画書策定の趣旨

『射和地区まちづくり協議会』設立から8年が経過しました。

発足当初は、具体的に何に取り組むのかも手探りの状態でありましたが、当面これまで地域内の各種団体や組織が独自に取り組んできた行事、活動をまちづくり協議会の活動として引き継ぎ進めていくことで、射和地区の活動中心団体とすることに努めてきました。

『射和地区まちづくり協議会』は今後の中長期的な視点から、しっかりとした地域の将来ビジョンや地域課題を共有し、まちづくりの基本方向を表していくために『まちづくり計画書』を策定し早5年が経過致しました。

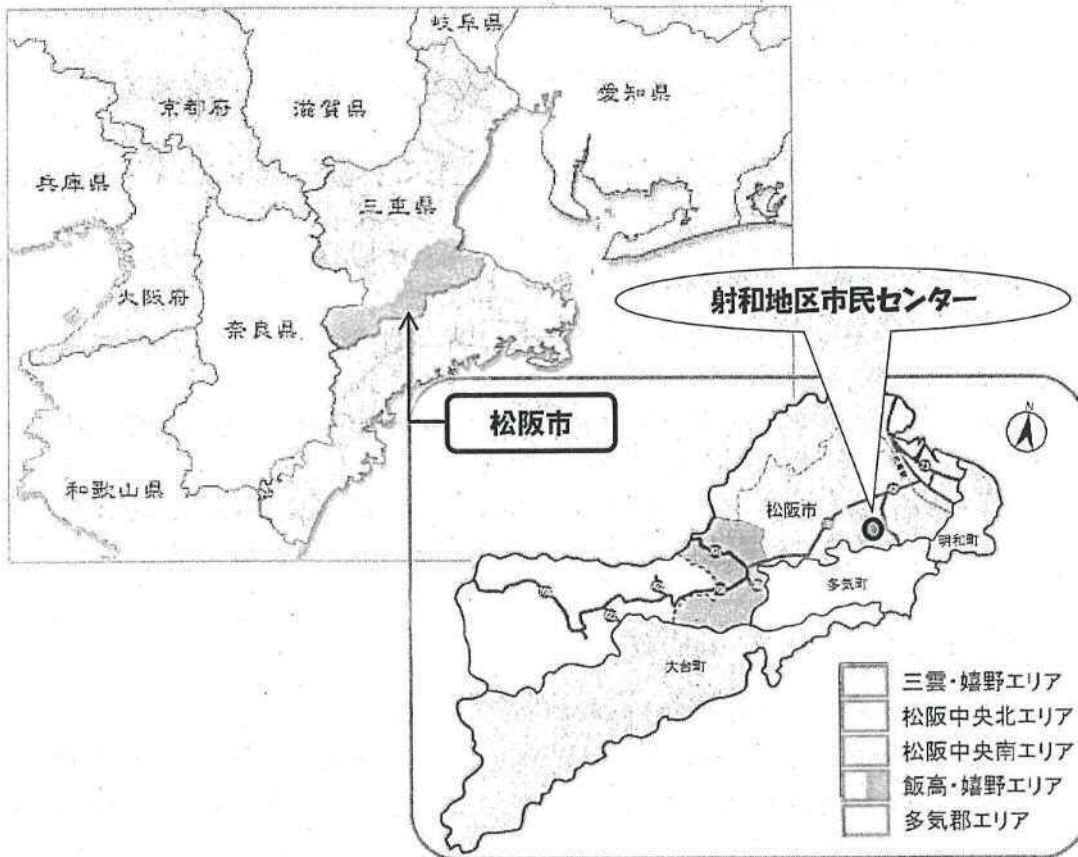
5年経過した現在、協議会の各部会が各種行事・活動の中心的な役割を果たしつつあり、まちづくり協議会は徐々に地域に定着してきたと考えます。

2014年射和地区全世帯を対象に、射和地区に住んで、「良いと思うところ」、「良くないと思うところ」また、より魅力的な射和地区にしていくために、どんな活動をしたら良いか等についてアンケート調査を実施しました。

このアンケート結果に基づいて、私たちの住んでいる射和地区の地理的な特徴や、自然産業、歴史、文化、人材などの地域資源や地域にある課題を整理し、みんなで地域をどうしたら良いかを考え、課題の解決方法や将来像を実現する方法として「地域計画書」をまとめたものですが、5年が経過し取り巻く環境の変化や実態にそぐわない内容を見直し今後の活動の指針としていきたいと考えています。

## 第2章 射和地区の概要

### 2.1 松阪市における射和地区の現況



令和元年11月1日現在

		三重県	松阪市	射和地区	占有率(松阪市比)
人口	男	869,266	78,956	1,624	2.06%
	女	910,703	84,685	1,819	2.15%
	合計	1,779,969	163,641	3,443	2.10%
世帯数		745,634	73,841	1,502	2.03%
人員/世帯		2.39	2.22	2.29	+0.07人
平均年齢		47.7歳	47.4歳	48.5歳	+1.1歳

### 2.2 アンケート結果による射和地区住民の意識

射和地区のまちづくり計画策定に向け、町民の思いを把握するため、全世帯(1175世帯)を対象にアンケートを実施しました。

射和地区の『良いところ』として、山や川、田園地帯のある自然の豊かさ、人間関係の良さや生活のやすさが挙げられた。また、歴史や伝統文化、祭りなどの継承に関心が寄せられました。

一方、『良くないところ』として、交通の利便性や医療・福祉施設が不十分であり、防犯防災に対する体制作り、子育て・教育環境の充実を望む声がありました。

(2)

## 第3章 射和地区を取り巻く現状と課題

### 3.1 自然

射和地区の良いところとして、約3割の住民が『自然の豊かさに恵まれている』との回答を寄せられました。

山や川の自然に恵まれてはいるものの、近年山林の荒廃や田畑の耕作放棄地が目立つ様になってきました。

### 3.2 歴史・文化

近隣の丹生で採掘された丹砂(水銀鉱石)を加工して造る軽粉(俗に伊勢白粉)や木綿を扱う射和商人は、江戸時代初期から江戸や京都・大坂に松阪木綿の店を出して成功をおさめました。これが松阪商人の先駆けです。

射和商人が邸宅とした豪商の町並みは現在も面影を残しています。また、往時の最盛期の祭りも今に伝えられています。

これら、各町内に現存する文化遺産や景観、祭りをいかに後世に伝承していくかが今後の課題となります。

### 3.3 産業

近年大型店舗の増加や、通信販売の利用などで小規模小売店が姿を消し地区外や郊外へ買い物に行く事が多くなりました。

また、後継者不足・労働力の不足から商工業の存続、若年層の農業の担い手が少なくなってきました。

### 3.4 交通

公共の交通機関が路線バスのみであり、また便数が少なく、生活するうえでは不便で車に頼らざるを得ない状況です。

車に乗れない人や高齢者、子供の通学等の移動手段が制約され不便な生活を強いられています。

### 3.5 子育て・教育

小学校・幼稚園は有るが、学童保育・図書館等の施設が近くになく、教育環境が整っていないと共に、公園等子どもが安心して外で遊べる所がありません。

### 3.6 福祉

少子高齢化、核家族化が進み、65歳以上の独居世帯が増加していますが、それら高齢者や独り住まいの人を見守る体制が不十分です。

老人が集える場所や、何時でも気軽に利用できるスポーツ施設等の環境が整っていません。

### 3.7 安心安全

地震や集中豪雨・土砂崩れ・河川の氾濫等、大規模災害に対する防災体制や共助体制が整っていません。

また、それらが発生した際の避難先も十分整っていません。

防犯に付いては防犯灯の増設や各家庭に於ける防犯意識の向上、子供たちの見守り、また今後増えるであろう空家の防犯・防災対策等が必要です。

## 第4章 まちづくりのあり方

### 4.1 まちづくりの目標

#### 伝統文化と自然環境に恵まれた町 『いざわ』

わたしたちのまち、『射和地区』は山や川、田園風景等四季の移ろいを肌で感じ取れる自然豊かな環境を先人たちから受け継いでまいりました。また古くからのたたずまいや伝統文化が継承されている地域でも有ります。これら自然環境や伝統文化、人とのつながりを大切にした温もりあるまちを次の世代に引き継いでいくことが私たちの大切な役割です。

自然環境に恵まれ伝統文化のあるまちに、笑顔があふれ子どもからお年寄まで、安心して生き生きと元気に暮らせるまちを目指し、私達は住民の力でその良さを次の世代に引き継いでいきたいと思ひます。

そのもととなるまちづくりの思ひを5つの柱でまとめました。



### 4.2 まちづくりを支える5本の柱

#### 自然環境にやさしい町

ふるさとの美しい山や川、田園風景を残し、恵まれた自然環境により情緒の豊かさを育みます。

また、地産地消の推進で地域農産品、地域の商工業の利用を図ります。

#### 笑顔あふれる町

笑顔であいさつの出来る人・まちを目指した取り組みや、声掛け運動により向こう三軒両隣(遠くの親戚より近くの他人)が助け合える取り組みを進めます。

子どもたちや高齢者、障害者の方たちへの思ひやり、いじめ・虐待の無い全ての人が暮らしやすいまちを創ります。

#### 安心安全の町

子どもたちも親・地域住民も共に育つ環境作りや、危険個所の点検整備と各家庭に於ける防犯意識の向上や、空家の防犯・防災対策を実施します。

#### 災害に強い町

地震や集中豪雨・土砂崩れ・河川の氾濫等、大規模災害に対する防災体制共助体制の整備と防災意識の向上を計ります。

それらが発生した際の避難、誘導先の明確化と誘導路の整備、確保をします。

#### 歴史文化の町

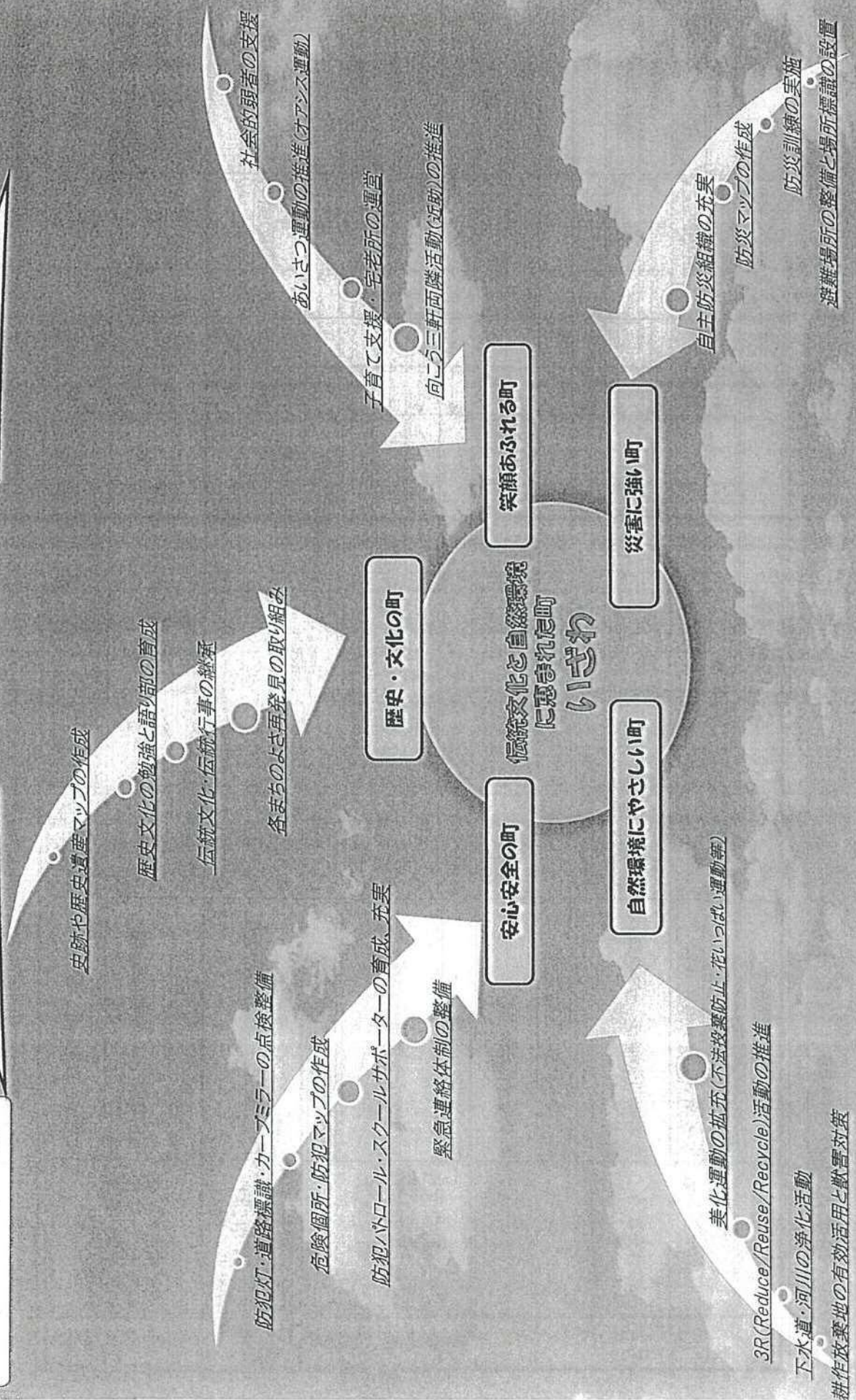
先人よりの文化遺産・景観・祭り等を次世代に継承するための、まちの再発見や知識の向上、語り部の育成、人との触れ合いの場づくり等の取り組みを進めます。

(4)

第4章 まちづくりのあり方

4.3 射和地区まちづくりの将来像

こんなまちになったらいい !!



第5章 施策実施の具体的計画案(その1)

重点テーマ	方針・狙い	取り組みの骨子	実施内容・方法	スケジュール(5か年)						実施主体 (まち協部会、行政機関)
				R2	R3	R4	R5	R6		
環境まちづくりと自然にやさしい	次世代を担う人々へ豊かな自然環境を継承する	出前講座の実施	3R活動やエコライフ推進等	検討	調査		美化活動		地域振興、行政	
		下水道・河川の浄化活動	河川流域への情宣活動と定期清掃の実施						環境・安全防災、行政	
		省資源化活動と、ゴミ処理の適正化	分別管理の徹底・3R (Reduce/Reuse/Recycle)活動推進 生ごみの堆肥化の推進(コンポストの有効利用等)						地域振興、行政	
		耕作放棄地の有効活用	不法投棄の根絶	調査	看板設置				環境・安全防災	
歴史文化の継承	身近な歴史文化に触れ次世代に伝統文化や行事を語り継ぎ継承する	獣害対策活動	獣害対策用ネットの設置・保全や獣害対策勉強会の実施 「猿どこネット」の情報共有による地域間連携体制の構築	調査		継続取組中 実施			地域振興・行政	
		歴史文化の発掘	各地区の歴史文化の掘り起し						教育文化	
		歴史文化を後世に伝える	地域の歴史文化の勉強会 歴史文化を語る会等との交流や継承活動 史跡や歴史遺産マップの作成						教育文化	
地元産業の振興	地元消費業の活性化を図る	まつり等を後世に伝える	住民参加型イベントの提案と実施による世代間交流						教育文化	
		農産物・商工業の地産地消	地元商工業の実態調査による人財バンク登録と活用 農産品直売所やフリーマーケットの開設 農業塾等、農産物栽培/ノウハウの交流会・講座	調査	登録				地域振興	
		公共交通機関利用のPR	既設交通機関の存続・継続運航への活動 スーパーとのタイアップによる移動販売車の試行 買い物物巡回バスの運行	調査(フリーマーケットは継続実施中)	検討	試行			地域振興	
交通の利便性	車に乗れない人や高齢者・子供の通学等、移動手段の確保	マイカーの乗り合い化	近所への声掛けによる買物・通院等の乗り合い 自前交通手段の無い方々への住民間の支援をサポート	調査	調査		検討(委)立上げ		健康福祉、地域振興、行政	
				運用研究					健康福祉、地域振興	

3Rとは=Reduce(発生抑制):ゴミも資源も元から減らす / Reuse(再利用):繰り返し使う / Recycle(再生利用):資源として再び利用する



第5章 施策実施の具体的計画案(その2)

重点テーマ	方針・狙い	取り組みの骨子	実施内容・方法	スケジュール(5か年)						実施主体 (まち協部会、行政機関)		
				R2	R3	R4	R5	R6				
教育環境	子供たちが安心して育つために、子育て中の親をサポートする	大人・子どもが笑顔であいさつ	『オアシス運動』の実施							教育文化		
		行事・遊び等の伝承	昔の遊びを通じ大人と子供の交流を図る							教育文化		
福祉の充実・健康増進	心身ともに健康で子供からお年寄りまで世代を超えたふれあいと支えあうまちを目指す	子育て支援	子育て中の親子を対象としたサロンの立ち上げ	調査検討	試行					健康福祉、行政		
		地域指導者の育成	地域スポーツ活動等の推進							教育文化		
		世代間を越えた住民が集える場づくり	お年寄りが集い楽しく過ごせる場づくりをする	試行						健康福祉、行政		
		お年寄りの見守り	お年寄りや見守りサポート体制づくり	継続取組中						健康福祉、行政		
		健康増進・社会的弱者の支援	向こう三軒両隣(独居老人の生活感等)の見守り習慣醸成	健康体操・認知症予防等の活動・支援とネットワーク構築	調査検討						健康福祉	
				市民体育祭への積極参加の取り組み							健康福祉、行政	
		安全・安心のまち	子供からお年寄りまで安心して生き生きと元気に暮らせる町を目指す	健康増進	親子ラジオ体操の推進による健康増進活動						教育文化、地域振興	
				自主防災体制の確立	フルマランのサポートと市民ランナーの底辺拡大	支務						健康福祉、行政
				交通安全対策	防犯マップの作成	防犯マップの作成						環境・安全防災、行政
					防犯活動の充実	防犯マップの増設						環境・安全防災、行政
登下校時の児童の見守り	登下校時の児童の見守り			防犯パトロールの活用	防犯パトロールの実施(車貼付けシールの活用)						環境・安全防災、行政	
				緊急時の子供避難家庭(こども110番のおうち)の登録	緊急時の子供避難家庭(こども110番のおうち)の登録	調査					環境・安全防災、行政	
				防犯パトロールの活用	防犯パトロールの実施(車貼付けシールの活用)						環境・安全防災、行政	
				防犯パトロールの活用	防犯パトロールの実施(車貼付けシールの活用)						環境・安全防災、行政	
				防犯パトロールの活用	防犯パトロールの実施(車貼付けシールの活用)						環境・安全防災、行政	
				防犯パトロールの活用	防犯パトロールの実施(車貼付けシールの活用)						環境・安全防災、行政	

(2)

## 「まちづくり計画書」の改定にあたり

『射和地区 まちづくり協議会』では、地域の課題みんなで共有し、安全・安心で住みよいまちづくりを実現していこうと、平成27年3月「まちづくり計画書」を策定しました。以来、早5年が経過し改訂の時期を迎えました。過去5年間にわたり、当初計画書に基づき各部会が中心となって、地域の組織・団体や行政との協働等により、様々な活動を行い一定の成果をあげてきました。しかしながら昨今の射和地区を取り巻く現況を見ると、少子高齢化による人口の減少、それに伴う農業や商工業、各組織・団体の後継者不足による活力の低下等が課題と成っています。今回は小規模な改定となりますがそのような社会情勢や環境の変化に応じて改定された計画書(令和2年～令和6年)に沿って、これからの5年間、地域の皆さん方が一つになって、決して背伸びすることなく課題解決のため日々努力を重ねていくことが何よりも大切な事です。

緑豊かな自然環境や由緒ある歴史と文化を再認識し、住みよいまちづくりを実現するため役員を始め、地域の皆様方の一層のご支援、協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年4月

射和地区まちづくり協議会

会長 三井 征一

### <補足資料>

#### 地域計画策定・推進メンバー

地域振興部会	健康福祉部会	環境・安全防災部会	教育文化部会
自治会連合会	自治会連合会	自治会連合会	自治会連合会
農業実行組合	福 社 会	消 防 団	公 民 館
射和「昔を語る会」	民生委員・児童委員	交通安全協会	射和幼稚園PTA
—————	主任児童委員	青少年健全育成会	射和小学校PTA
—————	老 人 会	—————	多気中学校PTA
—————	—————	—————	射和小学校同窓会

#### 行政機関

「三重県・松阪市」「社会福祉協議会」「第五地域包括支援センター」etc